

1 (マーク式, 解答は既約分数で表示せよ)

下の表は, ある店における商品 A, B の 5 日間の販売数を調べた結果である. 以下に答えよ.

曜日	月	火	水	木	金	平均値	分散	相関係数
A (個)	$a$	30	26	28	34	30	$b$	$\frac{2}{5}\sqrt{6}$
B (個)	15	11	$c$	$d$	17	12	12	

(A)  $a$  の値は ,  $c+d$  の値は  である.

(B)  $b$  の値は  である.

(C) 共分散の値は  $\frac{\text{カキ}}{\text{ク}}$  である.

(D) 共分散の値から,  $2c+d$  の値は  である.

(E)  $c$  の値は ,  $d$  の値は  である.

2 (マーク式, 解答は既約分数で表示せよ)

以下に答えよ.

(A)  $(\sqrt{5} \pm \sqrt{2})^2 = \text{ア} \pm \text{イ} \sqrt{\text{ウエ}}$  (複合同順)

(B) 以下の文に当てはまる最も適当な値を答えよ.

関数  $f(x) = x^4 + 2x^3 - 7x^2 + 2x + 1$  に対して,  $f(0) = \text{オ}$  であり,  $x=0$  は

次方程式  $f(x) = 0$  の解ではない. したがって,  $f(x) = 0$  の解は方程式

$$\frac{f(x)}{x^2} = \text{キ} x^2 + \text{ク} x - \text{ケ} + \frac{\text{コ}}{x} + \frac{\text{サ}}{x^2} = 0$$

の解と同じである.  $t = x + \frac{1}{x}$  と置くと, 上式は変数  $t$  についての方程式

$$t^2 + \text{シ} t - \text{ス} = 0$$

に書き換えることができ, 解の公式より, この方程式は相異なる 2 つの解

$$t = -\text{セ} \pm \sqrt{\text{ソタ}}$$

をもつ. さらに, この解と  $t = x + \frac{1}{x}$  から, 方程式  $f(x) = 0$  の解は, 方程式

$$x^2 + \left( \text{チ} \pm \sqrt{\text{ツテ}} \right) x + \text{ト} = 0$$

の解となっていることがわかる. ゆえに, 解の公式から, 方程式  $f(x) = 0$  は相異なる 4 つの解

$$x = -\frac{\text{ナ}}{\text{ニ}} \left( \left( \text{ヌ} \pm \sqrt{\text{ネ}} \right) \left( \text{ノ} \pm \sqrt{\text{ハ}} \right) \right) \quad (\text{複合任意})$$

をもつことがわかる.

3 (マーク式, 解答は既約分数で表示せよ)

AB = 20, BC = 21, CA = 29 の三角形 ABC について以下に答えよ.

(A)  $\boxed{\text{アイ}}^2 + BC^2 = CA^2$  である.

(B)  $\cos C = \frac{\boxed{\text{ウエ}}}{\boxed{\text{オカ}}}$ ,  $\sin C = \frac{\boxed{\text{キク}}}{\boxed{\text{ケコ}}}$ ,  $\tan C = \frac{\boxed{\text{サシ}}}{\boxed{\text{スセ}}}$  である.

(C) この三角形の面積は  $\boxed{\text{ソタチ}}$ , 外接円の半径は  $\frac{\boxed{\text{ツテ}}}{\boxed{\text{ト}}}$  である.

(D) 三角形の頂点 C と重心 G, 外心 O, 内心 I, 垂心 H を結ぶ線分の長さはそれぞれ,

$$CG = \frac{\boxed{\text{ナ}} \sqrt{\boxed{\text{ニヌネ}}}}{\boxed{\text{ノ}}},$$

$$CO = \frac{\boxed{\text{ハヒ}}}{\boxed{\text{フ}}},$$

$$CI = \boxed{\text{ヘ}} \sqrt{\boxed{\text{ホマ}}},$$

$$CH = \boxed{\text{ミム}}$$

である.

4 (記述式)

以下に答えよ.

(A) 2次不等式  $x^2 + px + q \leq 0$  の解が  $0 \leq x \leq 2$  となる定数  $p, q$  を求めよ.

(B)  $y = |x - 1| + 2|x + 1|$  のグラフの概形を描け.

(C)  $-1 \leq x \leq 1$  のとき,  $0 \leq a^2|x - 1| + 2a|x + 1| \leq 8$  となる  $a$  の範囲を求めよ.